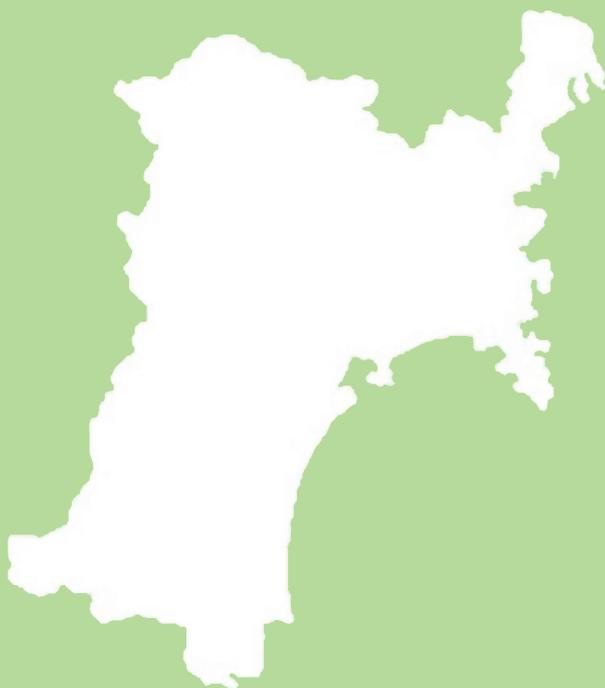


データからみたみやぎの健康 概要版

— 令和4年度版 —



宮城県保健福祉部

令和5年3月

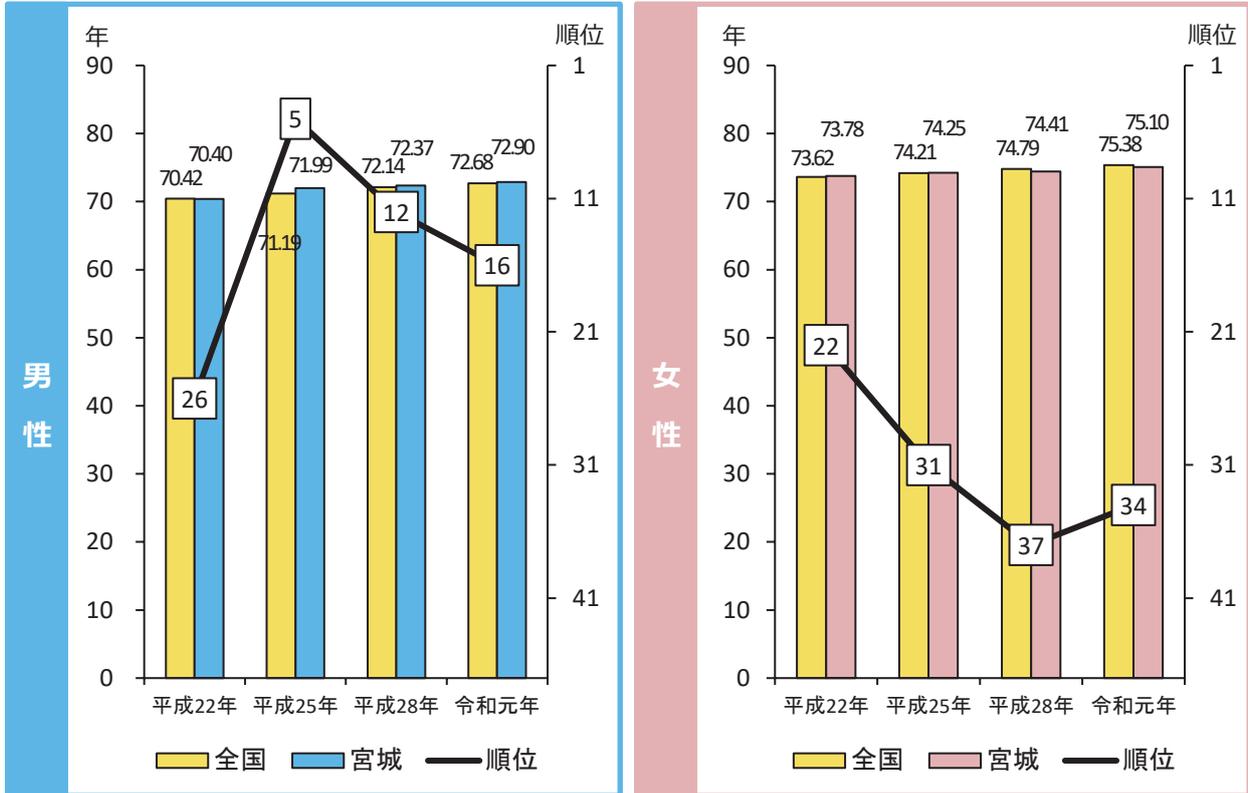
健康寿命

【宮城県の状況】

○宮城県男性の健康寿命は、平成22年は全国より低いが、平成25年、平成28年、令和元年はともに全国より高く、全国16位。

○宮城県女性の健康寿命は、平成22年、平成25年は全国より高いが、平成28年、令和元年は全国より低く、全国34位。

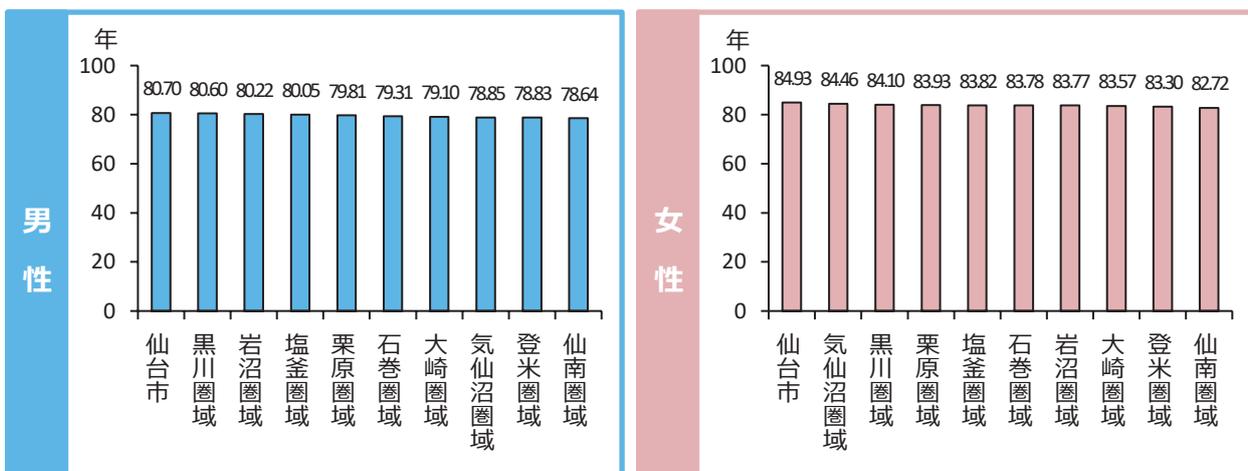
健康寿命の伸び（全国との比較）



資料) 厚生科学研究班算出「日常生活に制限のない期間の平均」

【圏域別の状況】

圏域別健康寿命（令和2年）

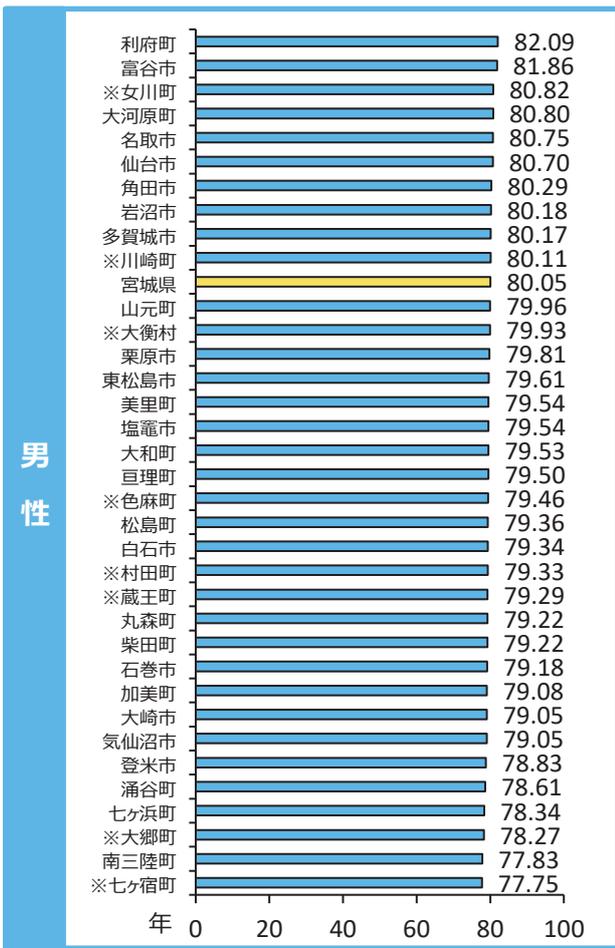


資料) 厚生科学研究班「健康寿命における算定プログラム」に基づき算出

注) 圏域別・市町村別健康寿命は「要介護認定2以上の認定者数」をもとに算出しているため、上記の「日常生活に制限のない期間」をもとに算定した都道府県の健康寿命とは比較できません。

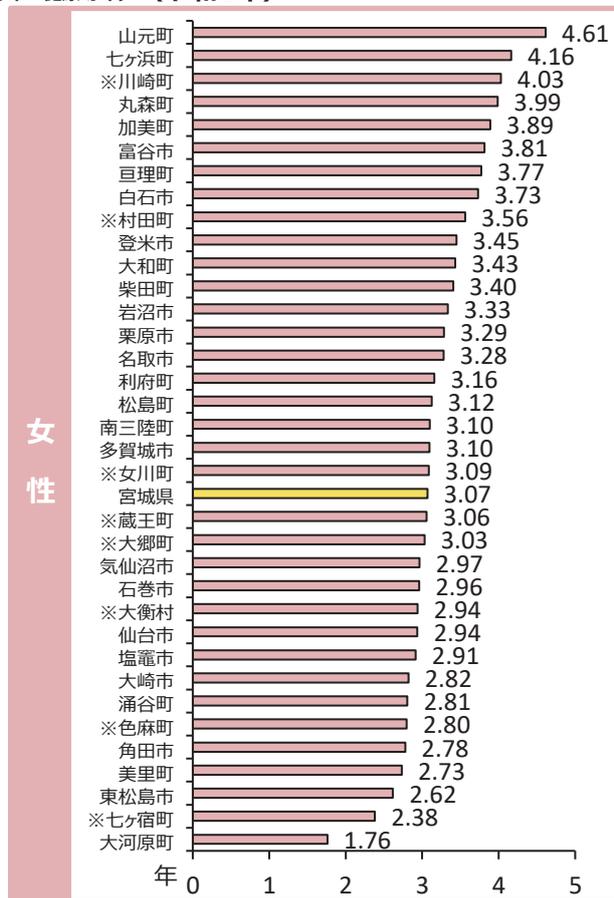
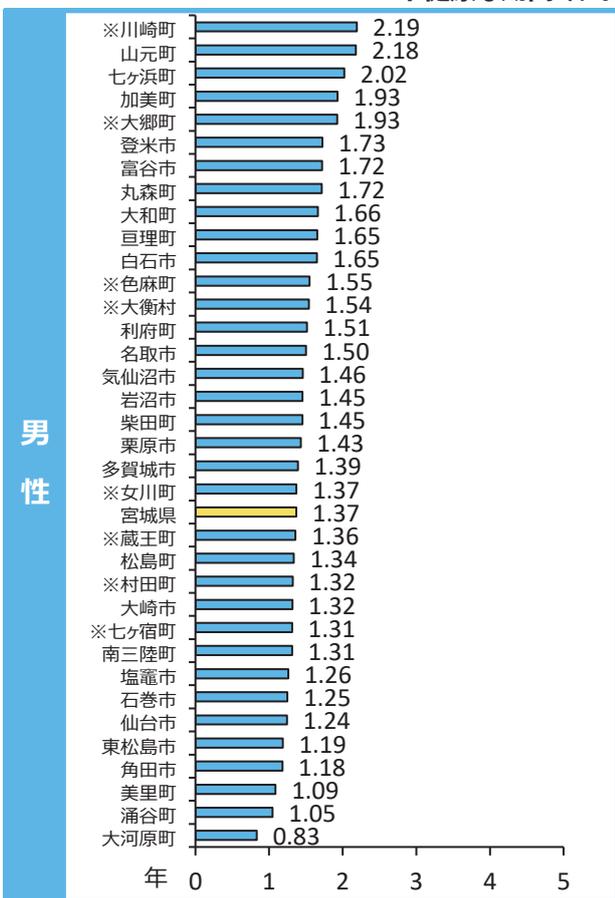
【市町村別の状況】

市町村別健康寿命（令和2年）



※人口1万2千人未満の市町村はばらつきが大きいため、参考値として掲載。

不健康な期間（平均寿命－健康寿命）（令和2年）



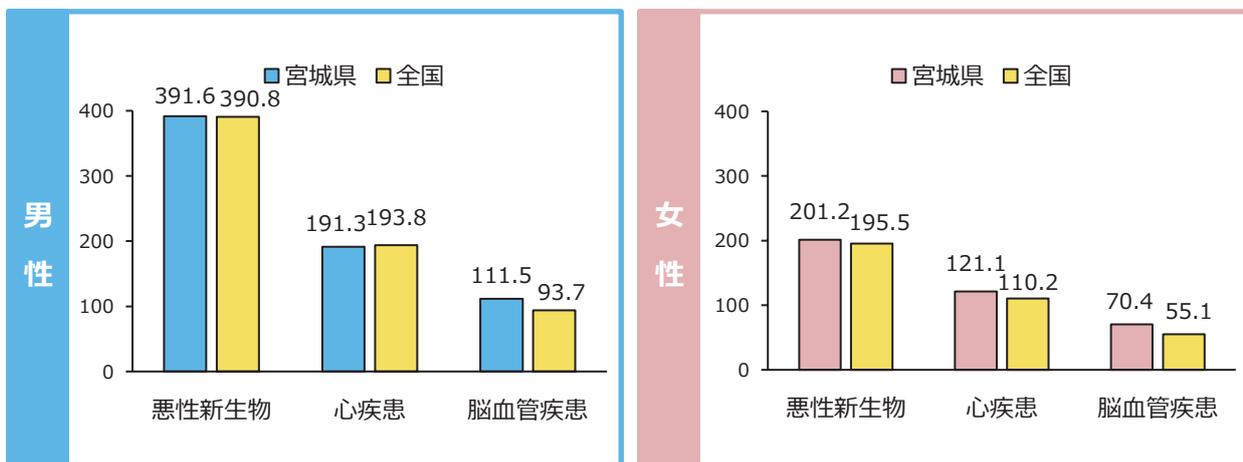
※人口1万2千人未満の市町村はばらつきが大きいため、参考値として掲載。

死亡の状況

【宮城県の様況】

○宮城県の主な死因の年齢調整死亡率は、男性では悪性新生物と脳血管疾患が全国より高く、女性では悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が全国よりも高い。

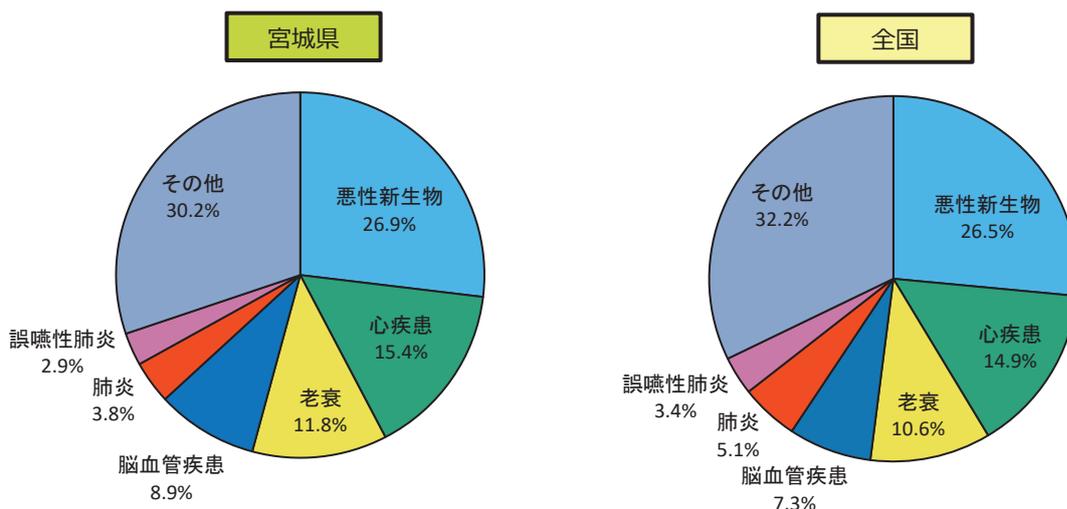
主な死因の年齢調整死亡率（人口10万対）（令和3年）



資料）宮城県：令和4年11月時点で県が入手できる統計を基に算出
 全国：人口動態統計（R3）

○宮城県の死亡順位は、1位悪性新生物、2位心疾患、3位老衰、4位脳血管疾患、5位肺炎の順である。
 全国でも1位悪性新生物、2位心疾患、3位老衰、4位脳血管疾患、5位肺炎の順である。

死因別死亡割合（令和3年）

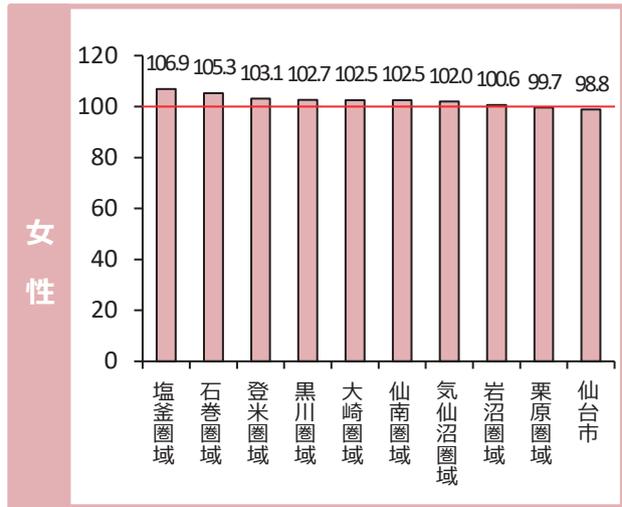
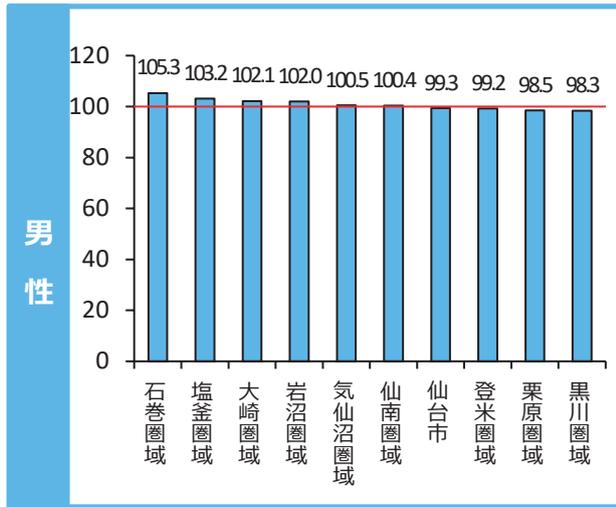


資料）人口動態統計（R3）の死亡数から算出

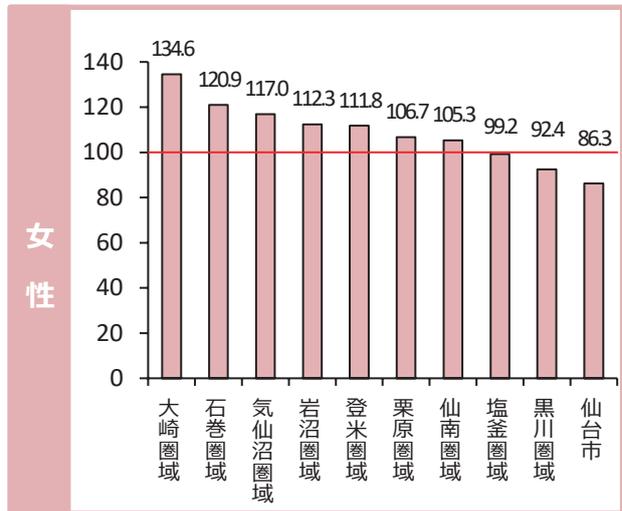
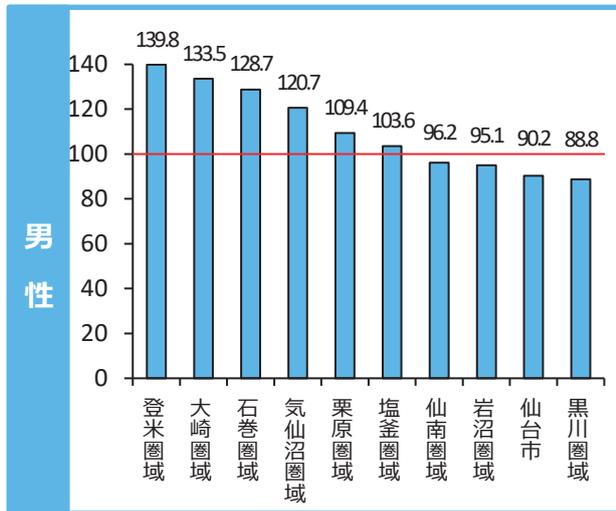
【圏域別の状況】

悪性新生物 標準化死亡比EBSMR (令和2年)

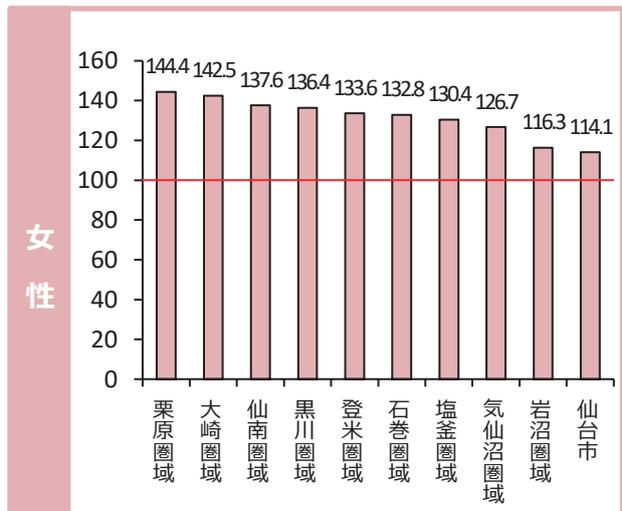
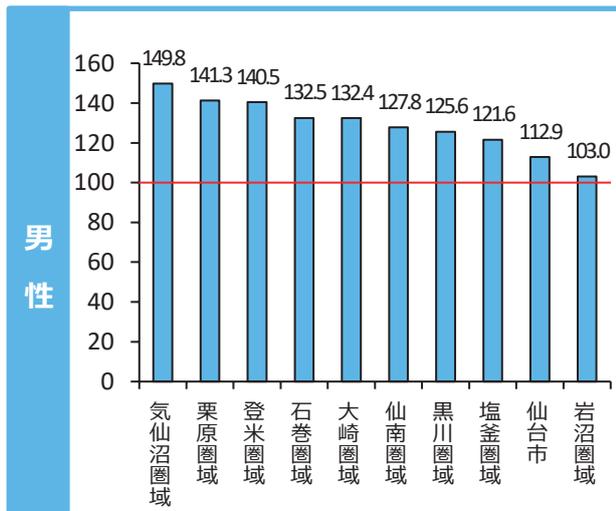
※全国=100



心疾患 標準化死亡比EBSMR (令和2年)



脳血管疾患 標準化死亡比EBSMR (令和2年)



■EBSMR (SMR経験的バイズ推定値) について

年齢構成の差を取り除き地域の比較を行うための指標として、標準化死亡比 (SMR) がありますが、小地域間の比較や経年的な動向を標準化死亡比で見ると、死亡数が少ないと数値が大きくなり変動してしまいます。そのため、観測データ以外にも対象に関する情報を推定に反映させることが可能な「バイズ推定」を使用しました。全国を100として相対値で表したもので、EBSMRが100より大きい場合、全国平均と比べて出現割合が高いことを示しています。

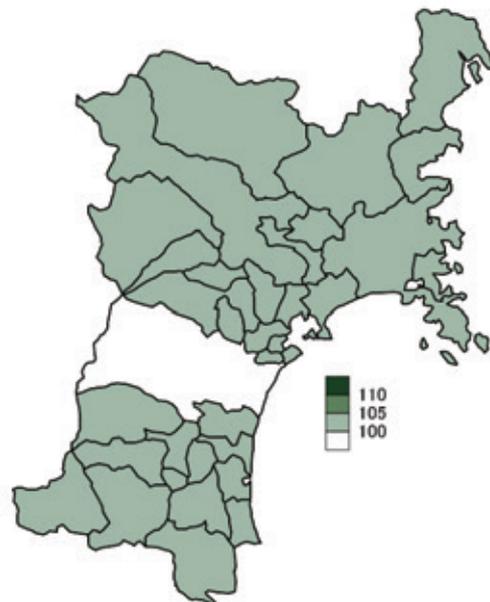
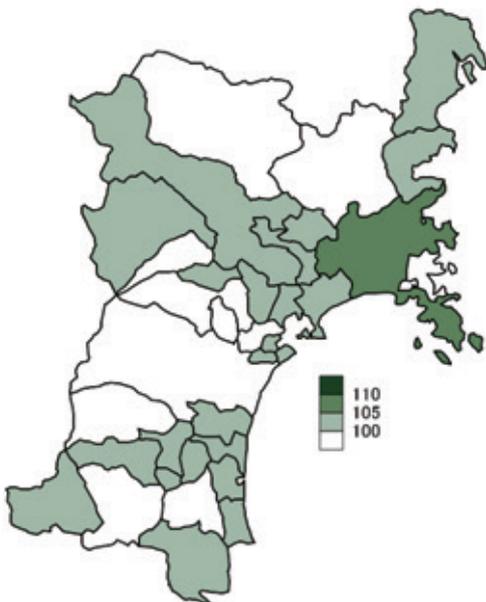
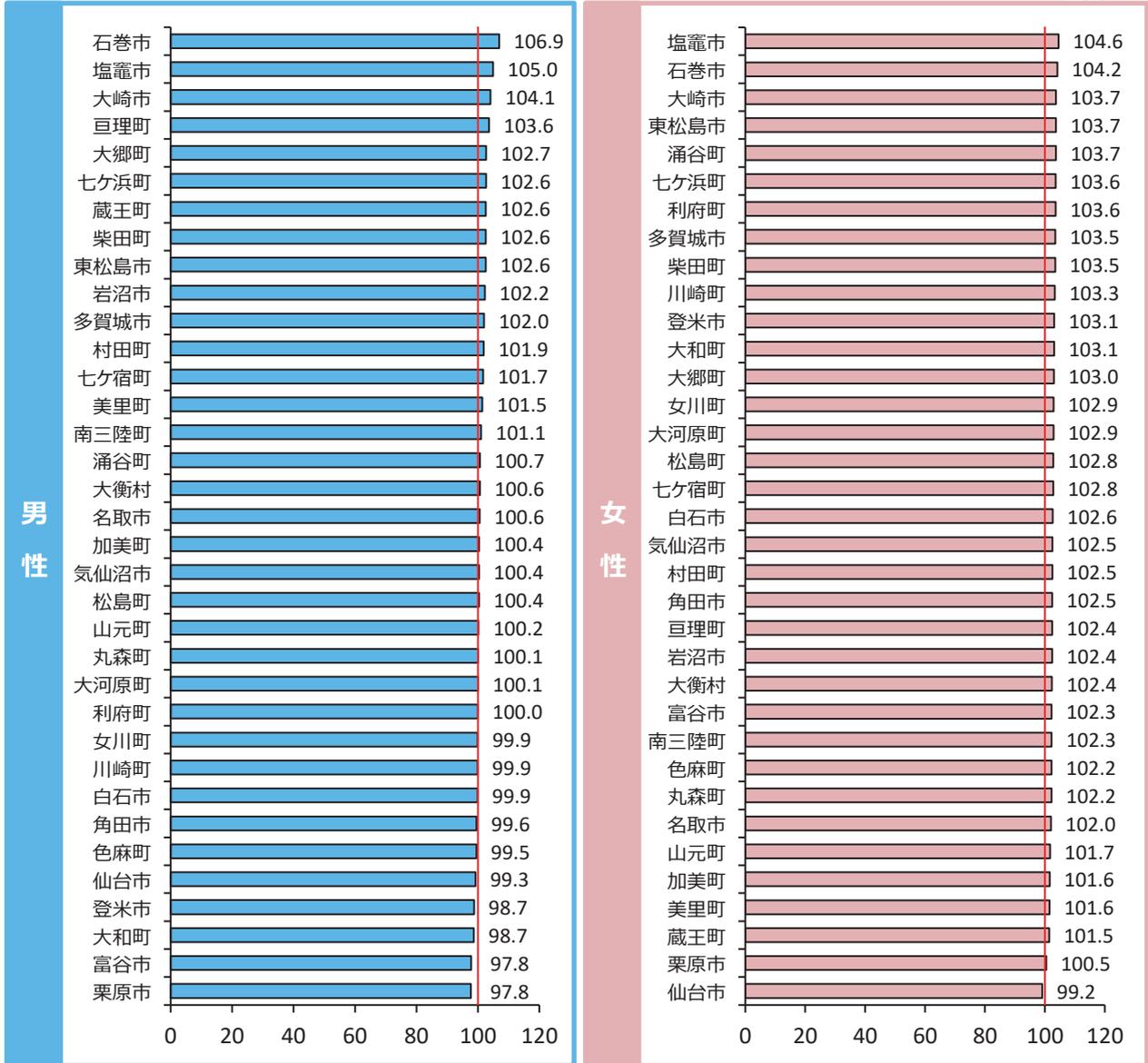
計算：Estimator for Poisson-Gamma model (国立保健医療科学院技術評価部提供)

【市町村別の状況】

○悪性新生物 標準化死亡比EBSMRの最も高い市町村は、男性は石巻市、女性は塩竈市。

悪性新生物 標準化死亡比EBSMR(令和2年)

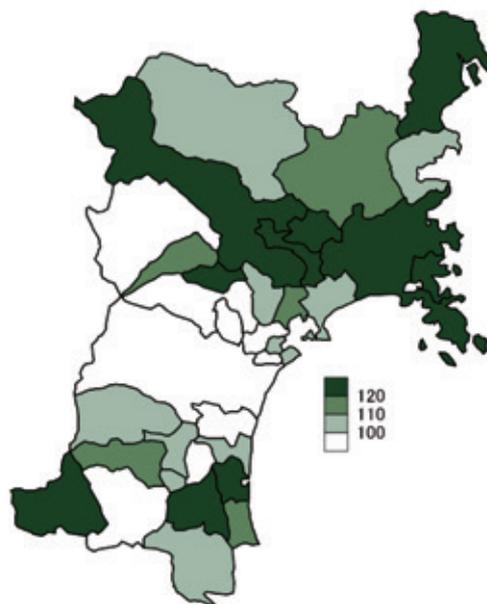
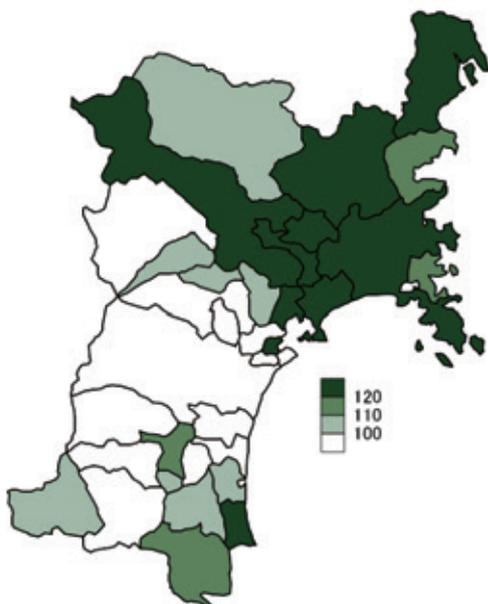
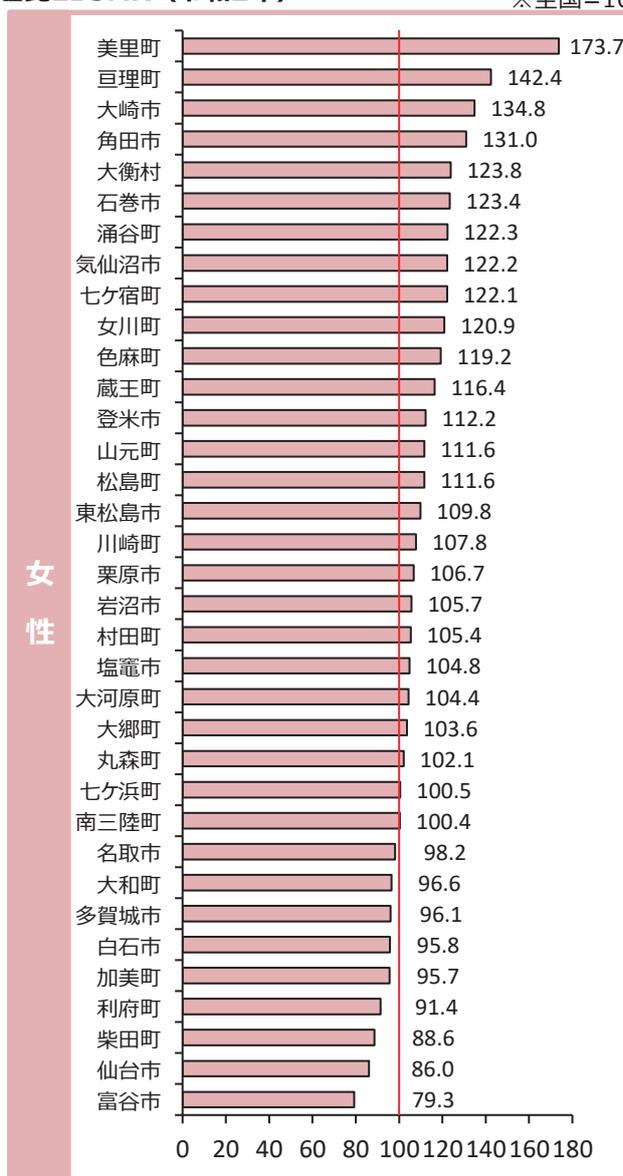
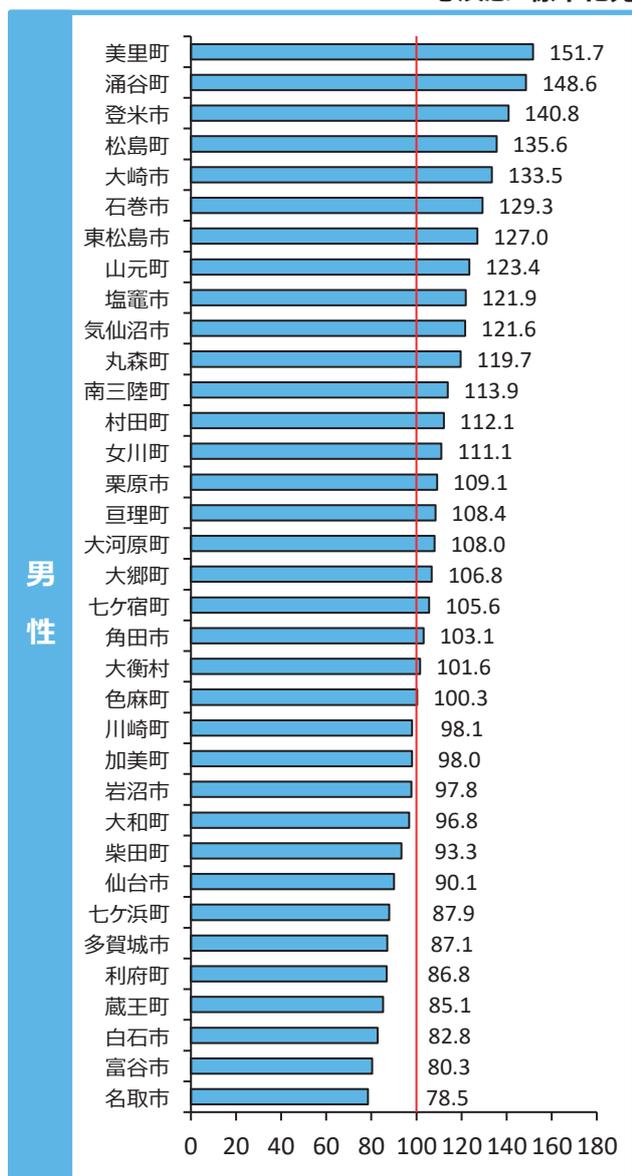
※全国=100



○心疾患 標準化死亡比EBSMRの最も高い市町村は、男女ともに美里町。

心疾患 標準化死亡比EBSMR (令和2年)

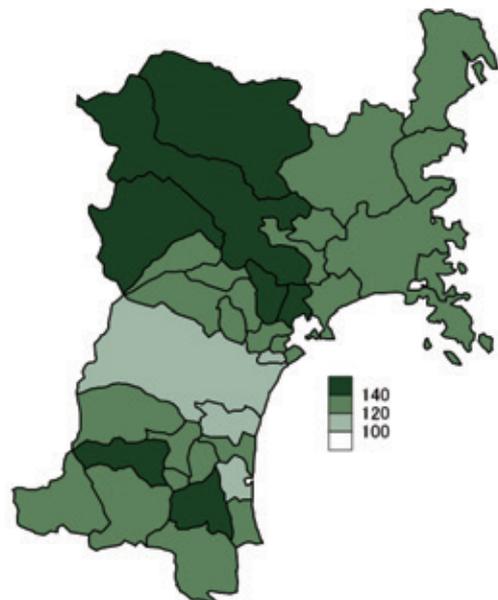
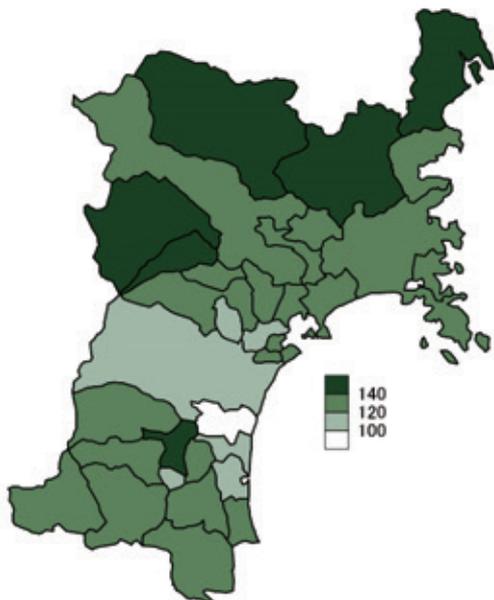
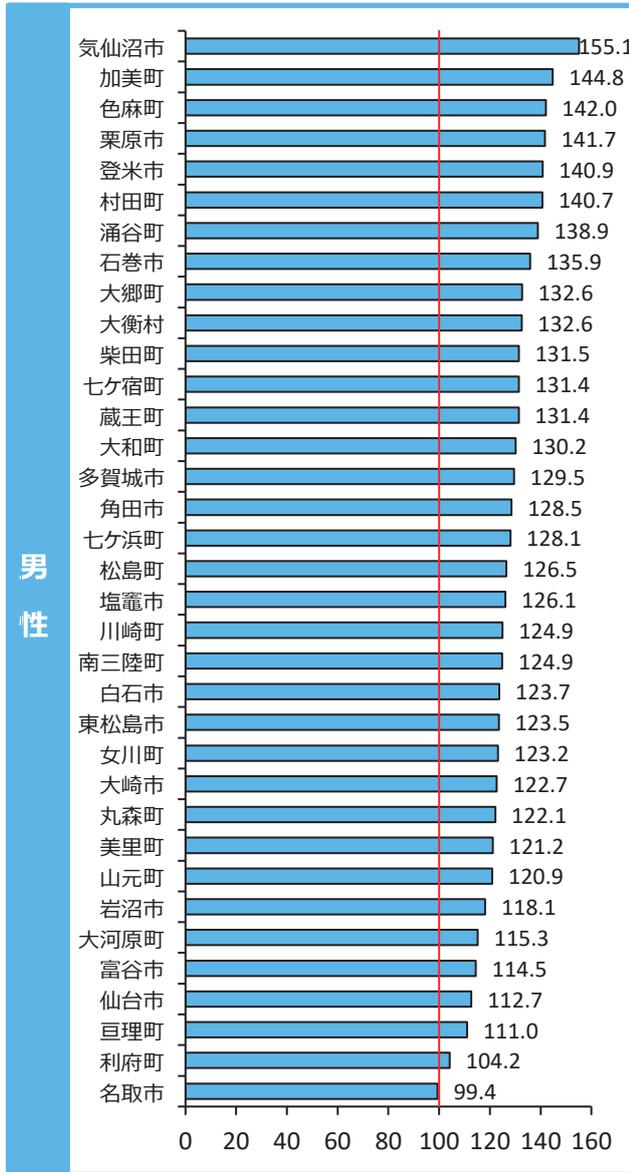
※全国=100



○脳血管疾患 標準化死亡比EBSMRの最も高い市町村は、男性は気仙沼市、女性は大郷町。

脳血管疾患 標準化死亡比EBSMR (令和2年)

※全国=100

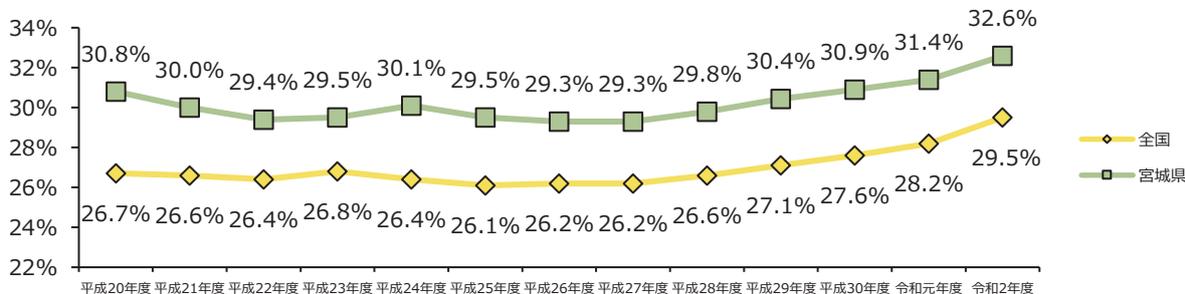


メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合

【都道府県の状況】

○宮城県のメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合は、全国より高めに推移し、平成20年度から13年連続でワースト3位以内である。

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の推移



資料) 特定健診・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省)

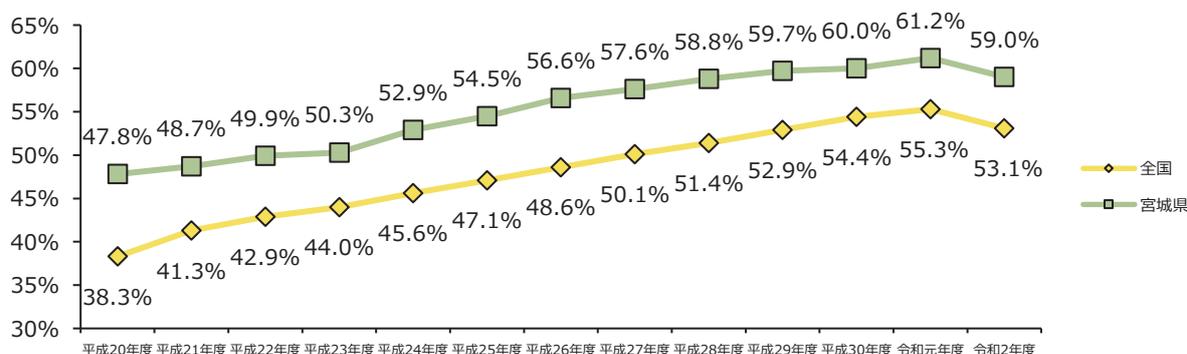
	メタボ予備群			メタボ該当者			該当者+予備群		
	全国	宮城県	順位	全国	宮城県	順位	全国	宮城県	順位
平成20年度	12.4%	13.0%	9	14.4%	17.7%	1	26.7%	30.8%	2
21年度	12.3%	12.5%	17	14.3%	17.5%	1	26.6%	30.0%	2
22年度	12.0%	11.9%	26	14.4%	17.5%	2	26.4%	29.4%	2
23年度	12.1%	12.1%	24	14.6%	17.5%	2	26.8%	29.5%	2
24年度	11.9%	12.4%	7	14.5%	17.7%	1	26.4%	30.1%	2
25年度	11.8%	12.6%	4	14.3%	16.9%	2	26.1%	29.5%	2
26年度	11.8%	12.2%	11	14.4%	17.0%	3	26.2%	29.3%	3
27年度	11.7%	12.1%	13	14.4%	17.2%	2	26.2%	29.3%	3
28年度	11.8%	12.2%	13	14.8%	17.6%	2	26.6%	29.8%	3
29年度	12.0%	12.3%	13	15.1%	18.1%	2	27.1%	30.4%	2
30年度	12.2%	12.4%	14	15.5%	18.5%	2	27.6%	30.9%	2
令和元年度	12.3%	12.8%	9	15.9%	18.7%	3	28.2%	31.4%	2
2年度	12.7%	12.8%	19	16.8%	19.8%	2	29.5%	32.6%	2

資料) 特定健診・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省)

特定健診有所見者の状況

【特定健診受診率の推移】

○宮城県の特定健診受診率は、全国より高めに推移し、平成20年度から13年連続でベスト4位以内である。



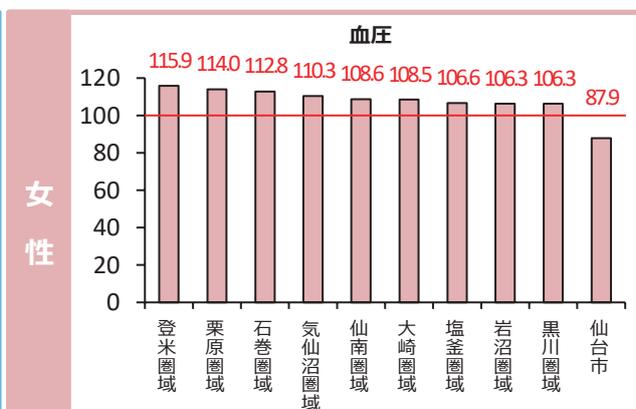
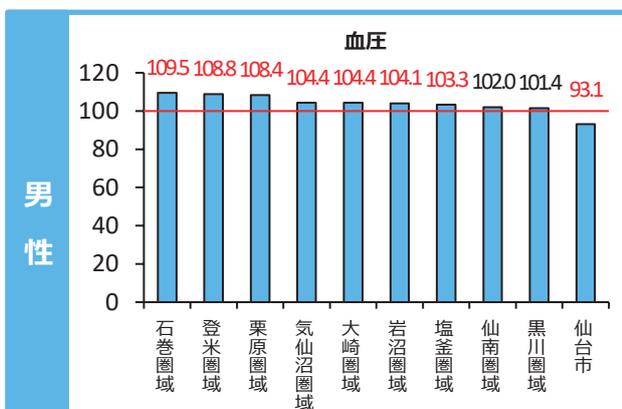
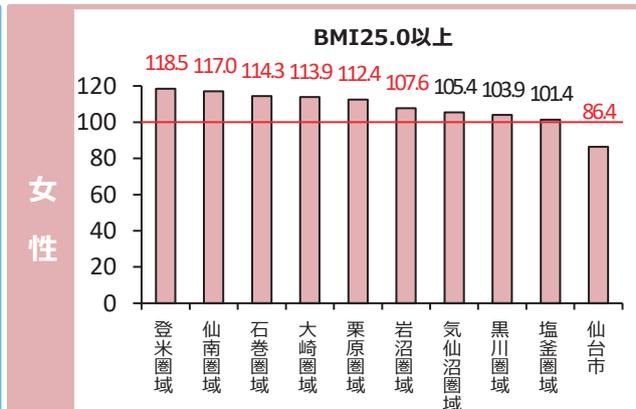
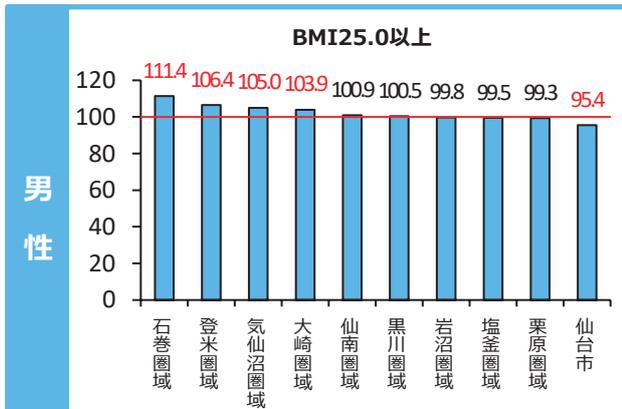
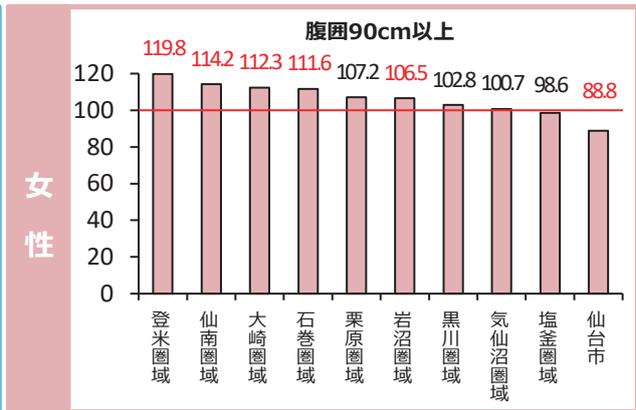
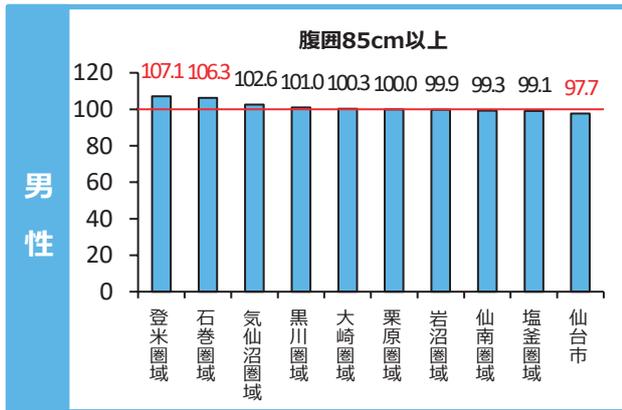
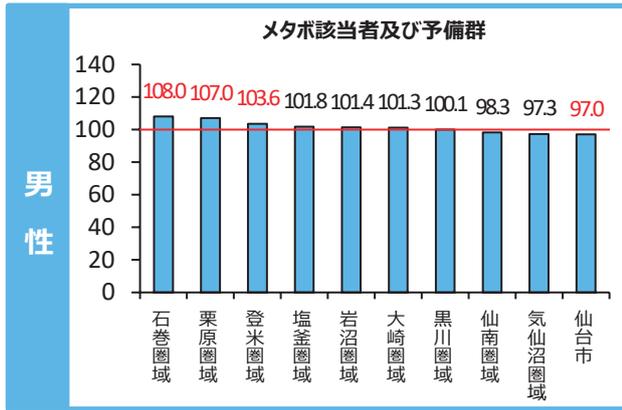
資料) 特定健診・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省)

○有所見者の圏域別、市町村別の状況は次のページから記載しています。

【圏域別の状況】特定健診有所見者

標準化該当比：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和2年度）

※40-69歳



基準値 収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

※赤字は有意であることを示しています。

※栗原圏域は令和2年度の市町村国保の特定健診実施がなかったため、「協会けんぽ」のデータのみを用いて算出。

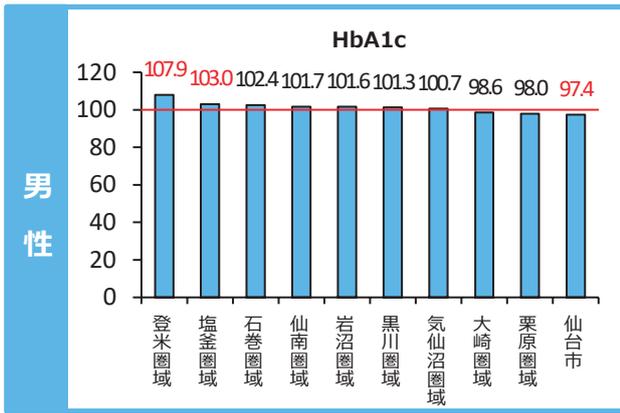
■標準化該当比とは

特定健診受診者の性別年齢構成は保険者により異なります。そのため年齢構成による差を取り除き、市町村間比較するために、平均を100として相対値で表したものを。標準化該当比が100より大きい場合は、平均と比べて出現割合が高いことを示しています。

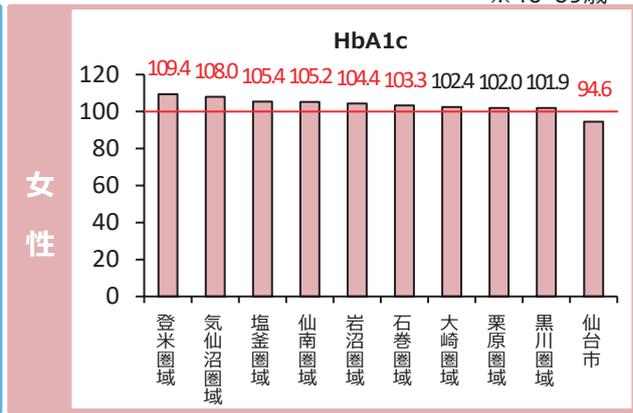
【圏域別の状況】特定健診有所見者

標準化該当比：男女別〔市町村国保+協会けんぽ〕（令和2年度）

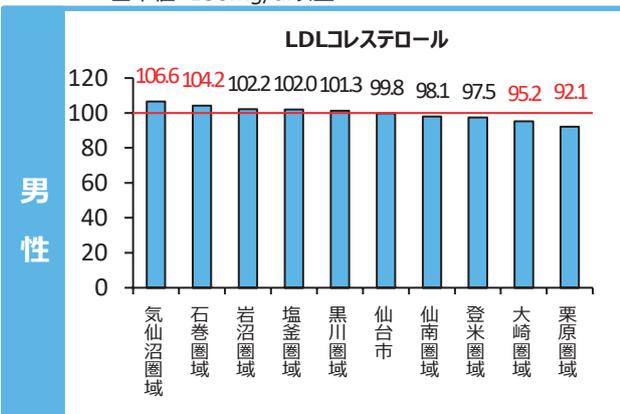
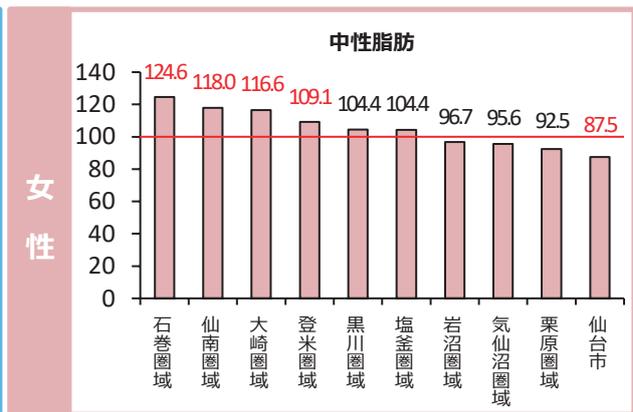
※40-69歳



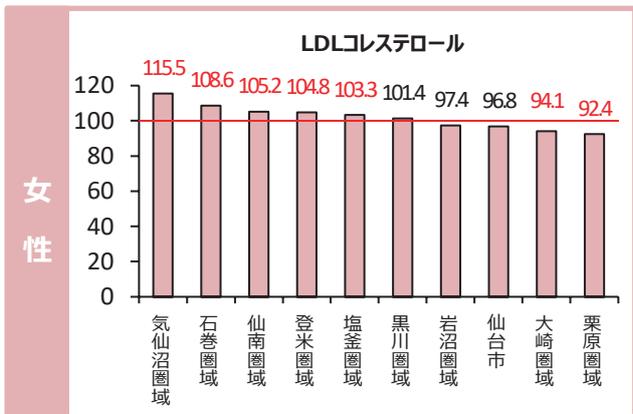
基準値 5.6%以上



基準値 150mg/dl以上



基準値 140mg/dl以上



基準値 γ -GTP 51IU/L以上



※赤字は有意であることを示しています。

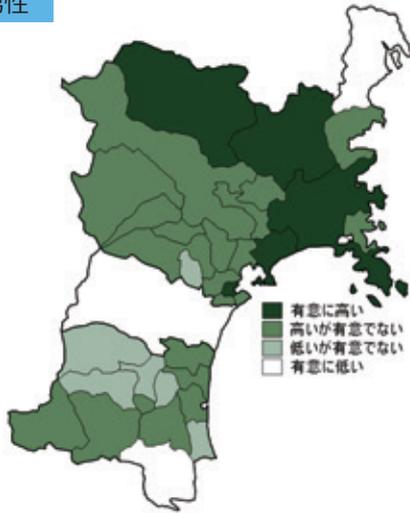
※栗原圏域は令和2年度の市町村国保の特定健診実施がなかったため、「協会けんぽ」のデータのみを用いて算出。

【市町村別の状況】特定健診有所見別マップ：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和2年度）

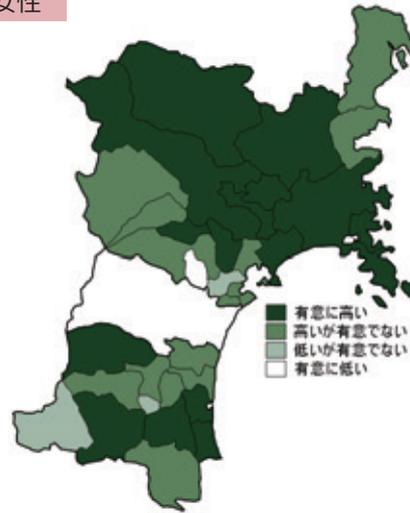
メタボリックシンドローム該当者及び予備群

※40-69歳

男性

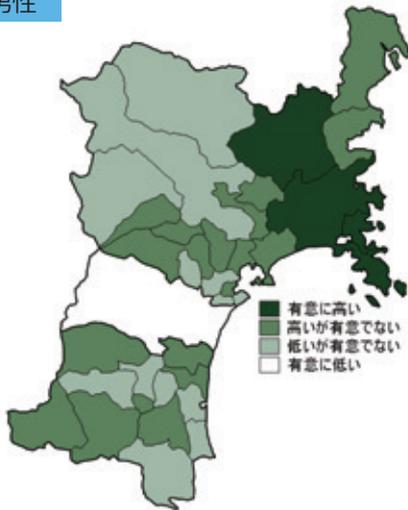


女性



腹囲 男性：85cm以上，女性90cm以上

男性

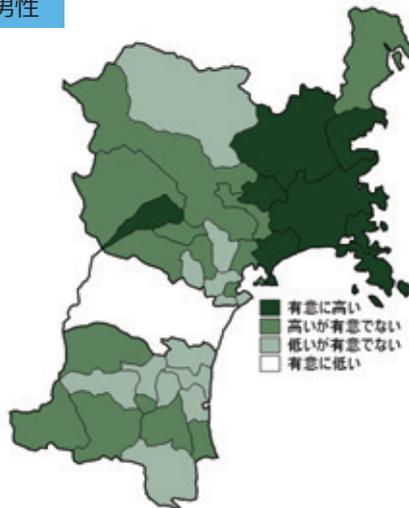


女性



BMI25.0以上

男性



女性



「有意に高い」 標準化該当比>100かつ信頼区間の下限>100 「高いが有意ではない」 標準化該当比>100かつ信頼区間の下限≤100
 「有意に低い」 標準化該当比<100かつ信頼区間の上限<100 「低いが有意ではない」 標準化該当比<100かつ信頼区間の下限≥100

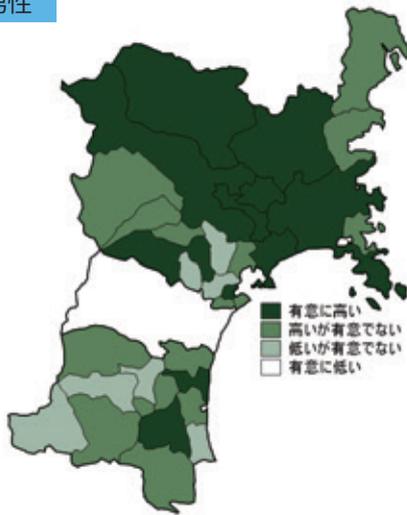
※栗原市は令和2年度の市町村国保の特定健診実施がなかったため、「協会けんぽ」のデータのみを用いて算出。

【市町村別の状況】特定健診有所見別マップ：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和2年度）

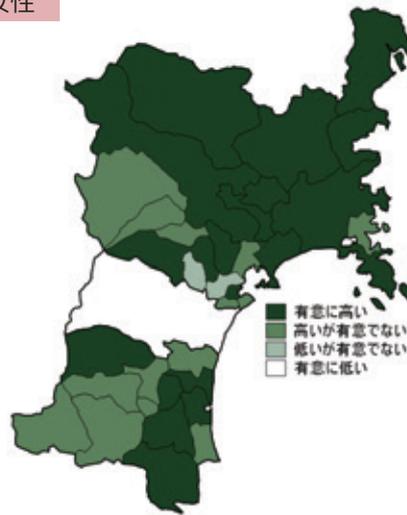
収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上

※40-69歳

男性

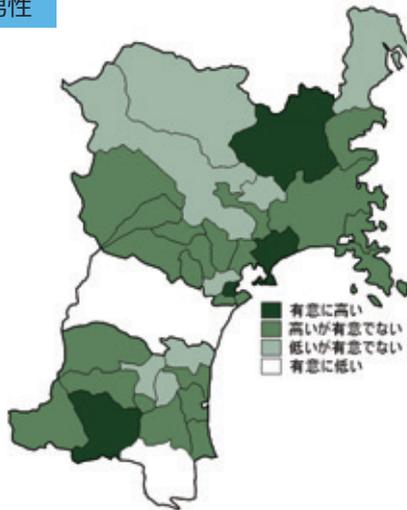


女性

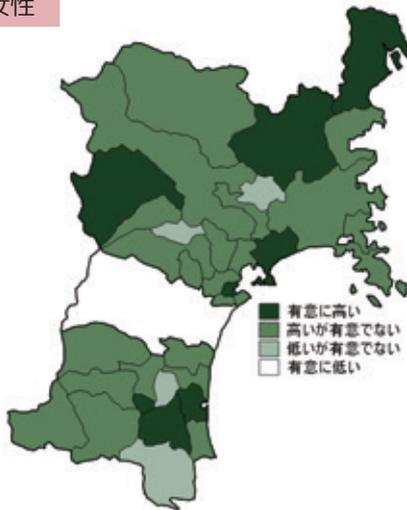


HbA1c 5.6%以上

男性

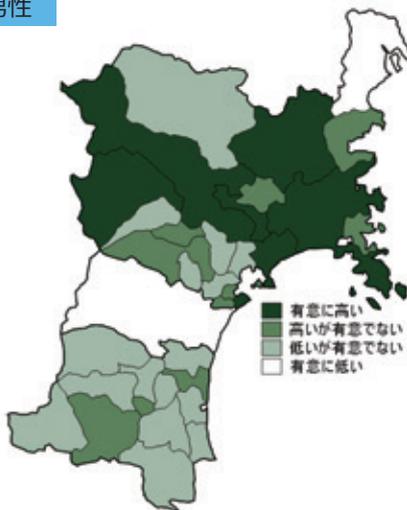


女性

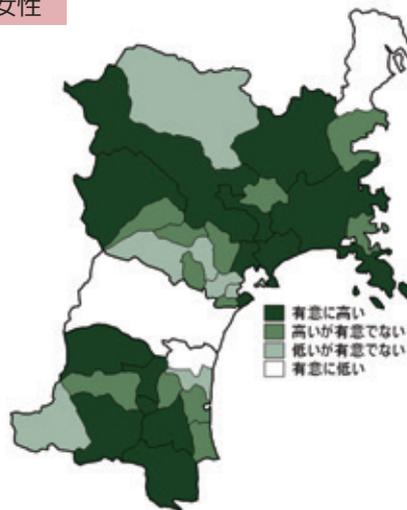


中性脂肪150mg/dl以上

男性



女性

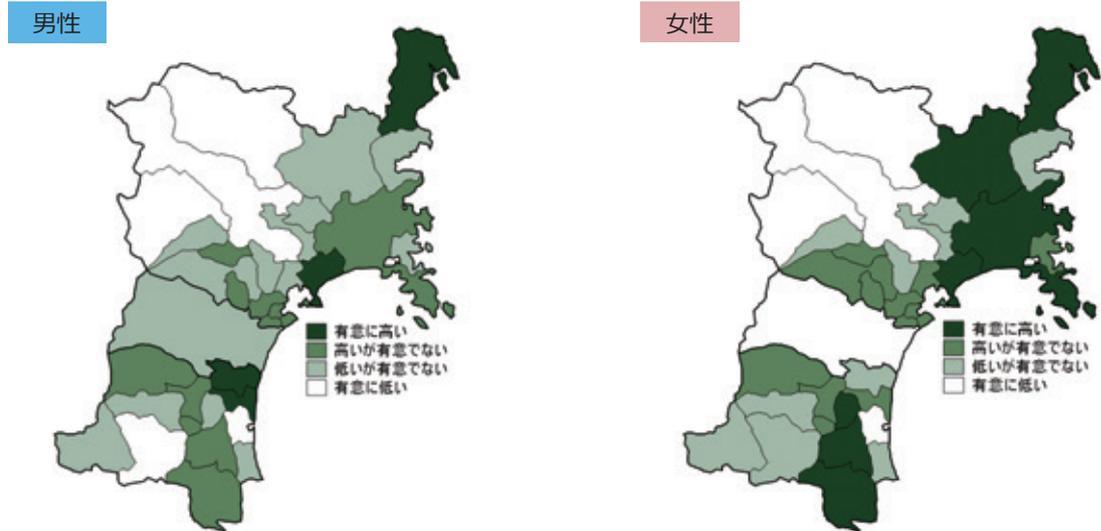


※栗原市は令和2年度の市町村国保の特定健診実施がなかったため、「協会けんぽ」のデータのみを用いて算出。

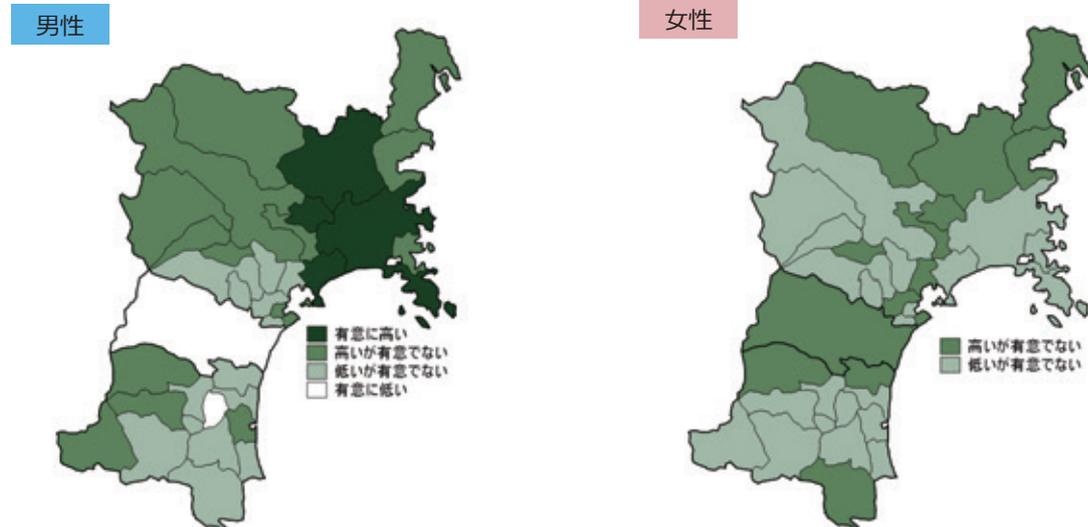
【市町村別の状況】特定健診有所見別マップ：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和2年度）

LDLコレステロール 140mg/dl以上

※40-69歳



γ-GTP 51UI/L以上



※栗原市は令和2年度の市町村国保の特定健診実施がなかったため、「協会けんぽ」のデータのみを用いて算出。

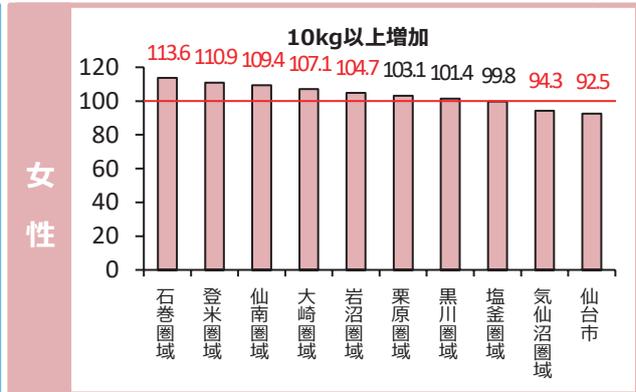
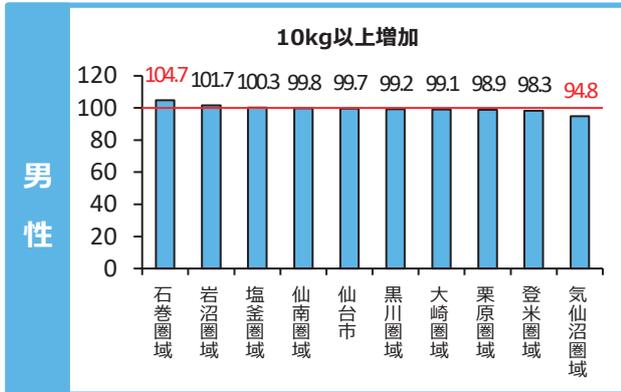
特定健診に係る圏域別のグラフや市町村別マップは、宮城県国民健康保険団体連合会（国保連、市町村国保）及び全国健康保険協会宮城支部（協会けんぽ）にデータを提供頂き、合算の上、標準化該当比を算出しています。（市町村国保 40-69歳受診者76,568人 協会けんぽ 40-69歳受診者222,581人の状況）

生活習慣の状況—特定健診質問票より—

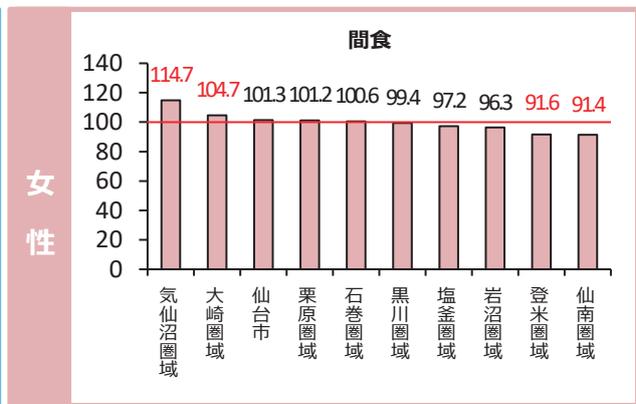
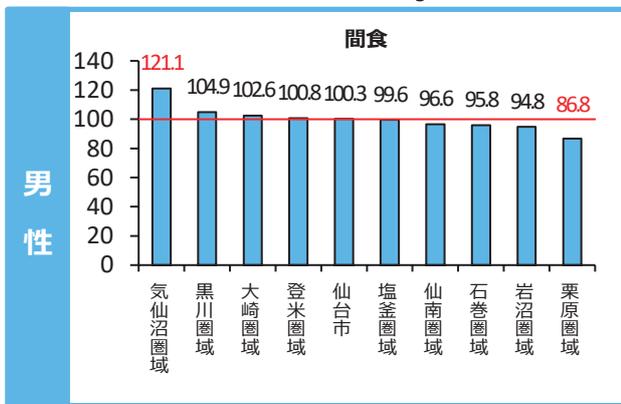
【圏域別の状況】特定健診質問票

標準化該当比：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和2年度）

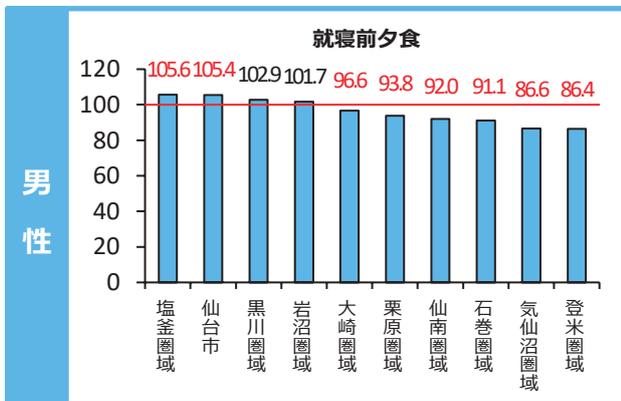
※40-69歳



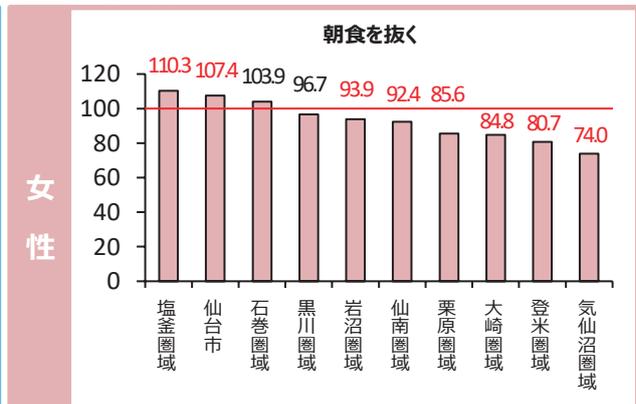
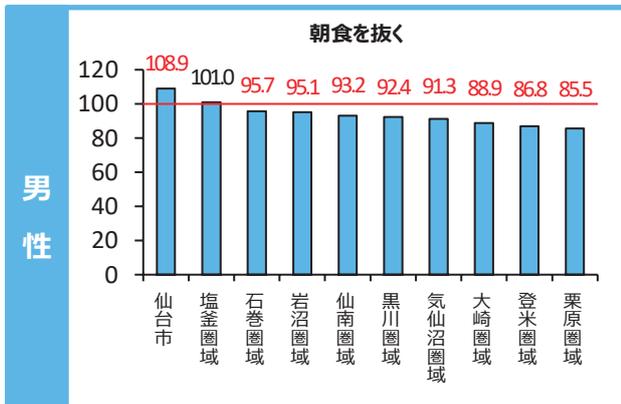
質問項目 20歳の時の体重から10kg以上増加している・・・「はい」と回答



質問項目 朝昼夜3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している・・・「毎日」と回答



質問項目 就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある・・・「はい」と回答



質問項目 朝食を抜くことが週に3回以上ある・・・「はい」と回答

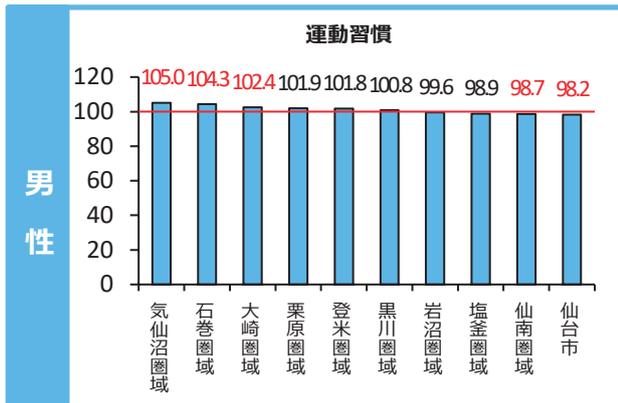
※赤字は有意であることを示しています。

※栗原圏域は令和2年度の市町村国保の特定健診実施がなかったため、「協会けんぽ」のデータのみを用いて算出。

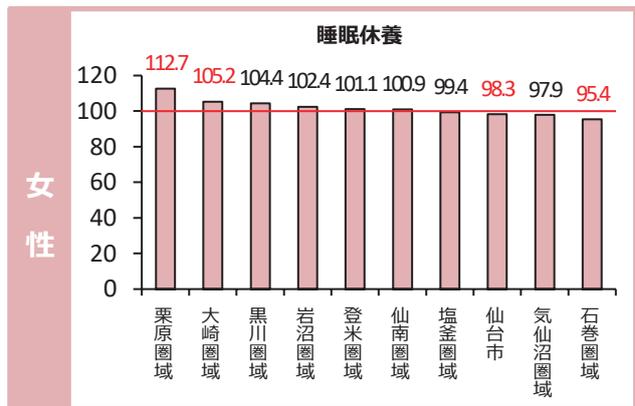
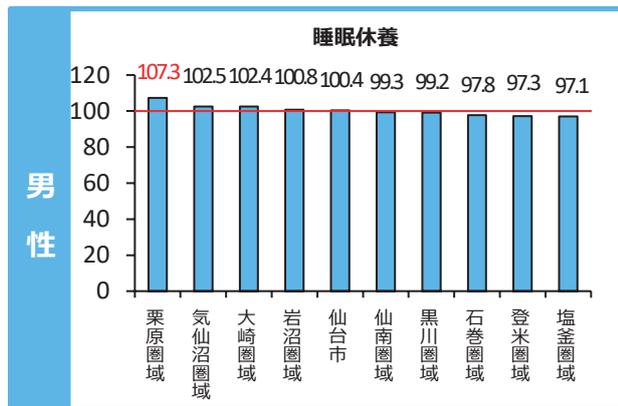
【圏域別の状況】特定健診質問票

標準化該当比：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和2年度）

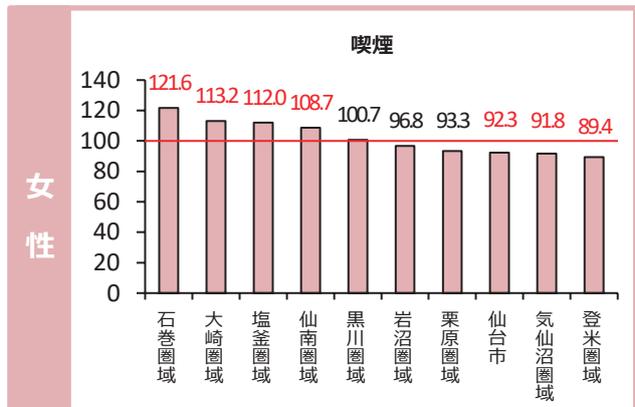
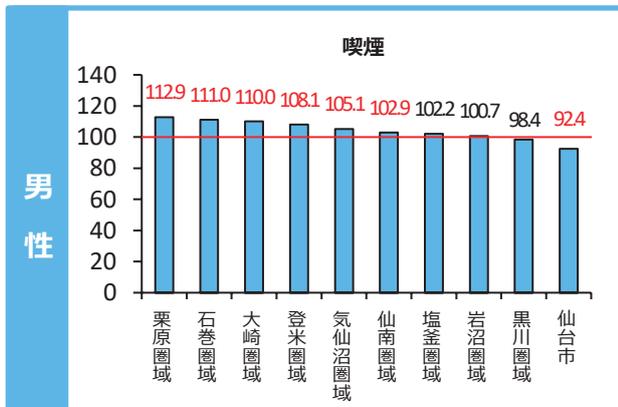
※40-69歳



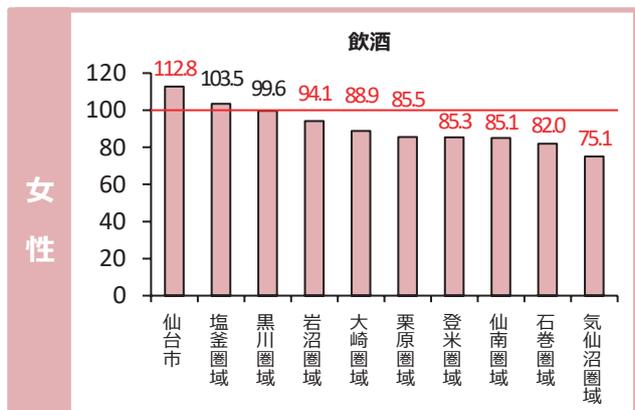
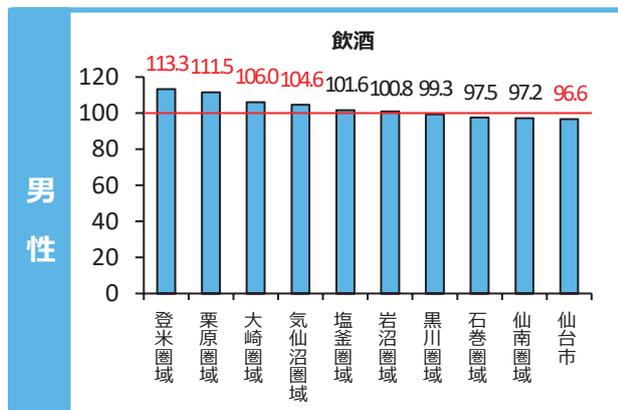
質問項目 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週に2回以上、1年以上実施している・・・「いいえ」と回答



質問項目 睡眠で休養が十分とれている・・・「いいえ」と回答



質問項目 現在、たばこを習慣的に吸っている・・・「はい」と回答



質問項目 お酒を飲む頻度・・・「毎日」と回答

※赤字は有意であることを示しています。

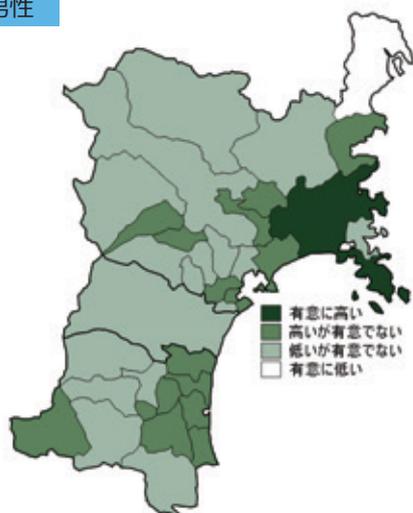
※栗原圏域は令和2年度の市町村国保の特定健診実施がなかったため、「協会けんぽ」のデータのみを用いて算出。

【市町村別の状況】特定健診質問票項目別マップ：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和2年度）

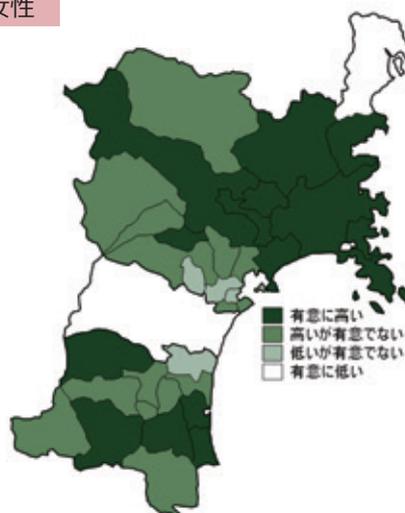
20歳の時の体重から10kg以上増加している

※40-69歳

男性

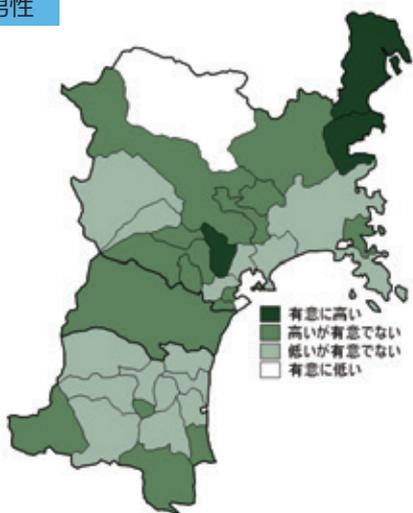


女性

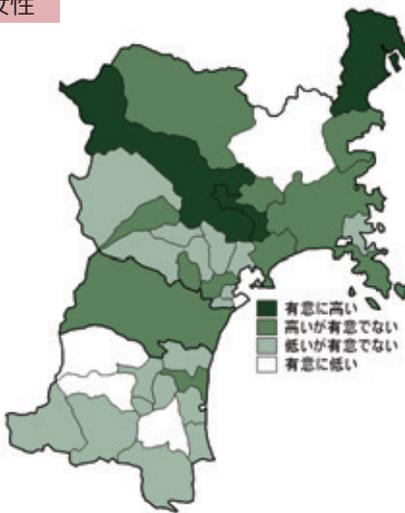


朝昼夜の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している

男性

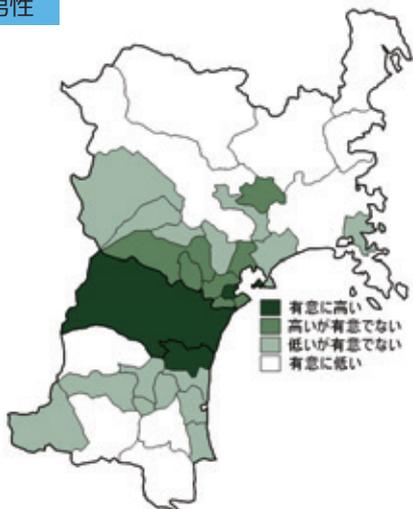


女性



就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある

男性



女性



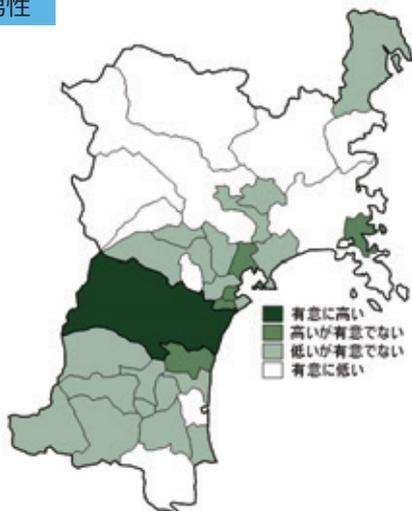
「有意に高い」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 > 100 「高いが有意ではない」 標準化該当比 > 100かつ信頼区間の下限 ≤ 100
 「有意に低い」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の上限 < 100 「低いが有意ではない」 標準化該当比 < 100かつ信頼区間の下限 ≥ 100
 ※栗原市は令和2年度の市町村国保の特定健診実施がなかったため、「協会けんぽ」のデータのみを用いて算出。

【市町村別の状況】特定健診質問票項目別マップ：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和2年度）

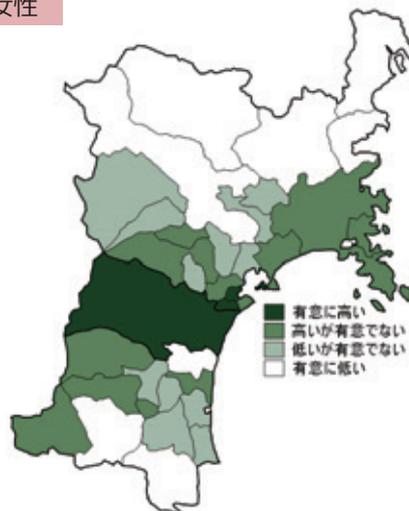
朝食を抜くことが週に3回以上ある

※40-69歳

男性

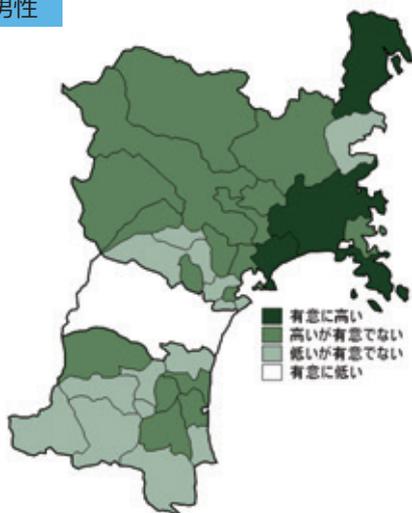


女性

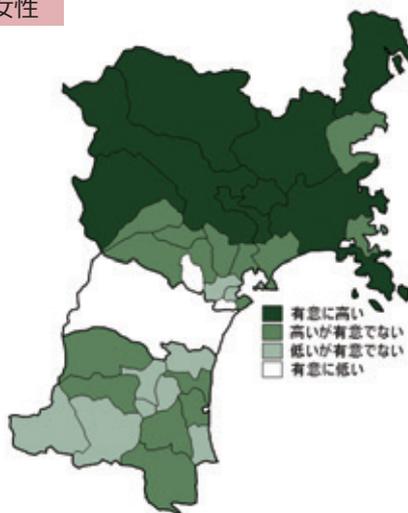


1回30分以上の軽く汗をかく運動を週に2回以上、1年以上実施していない

男性

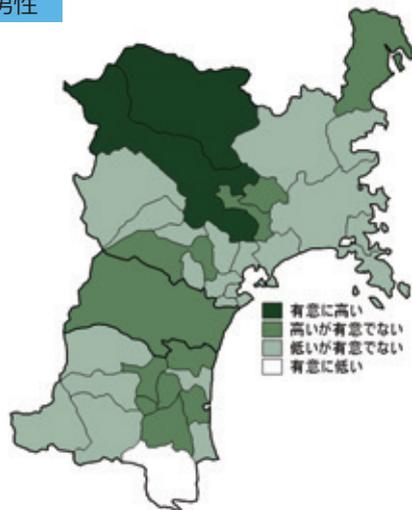


女性

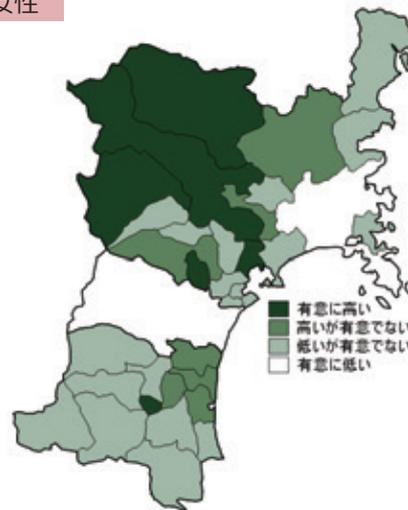


睡眠で休養が十分とれていない

男性



女性



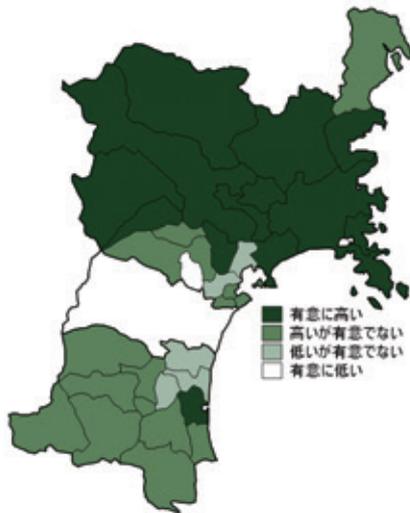
※粟原市は令和2年度の市町村国保の特定健診実施がなかったため、「協会けんぽ」のデータのみを用いて算出。

【市町村別の状況】特定健診質問票項目別マップ：男女別【市町村国保+協会けんぽ】（令和2年度）

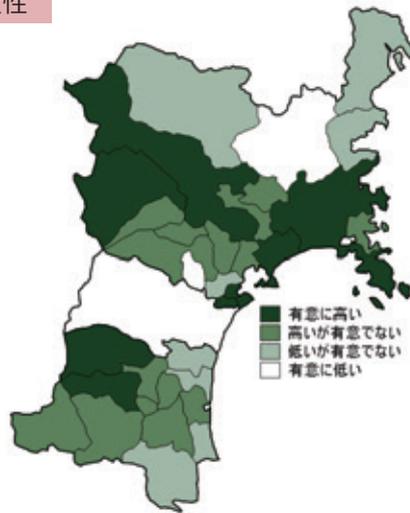
現在、たばこを習慣的に吸っている

※40-69歳

男性

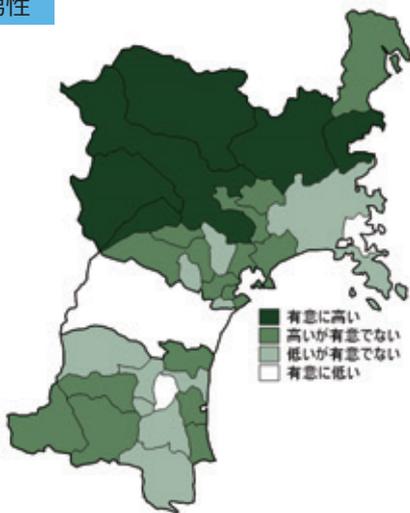


女性

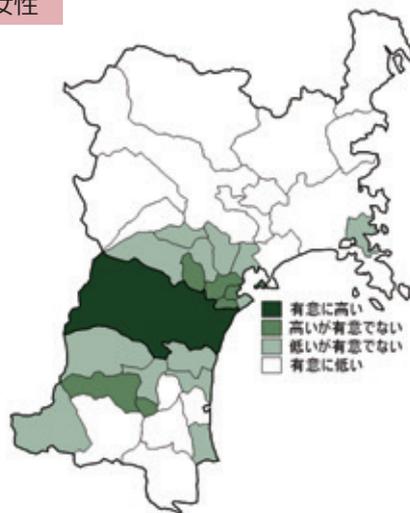


お酒を毎日飲む

男性



女性



※栗原市は令和2年度の市町村国保の特定健診実施がなかったため、「協会けんぽ」のデータのみを用いて算出。

特定健診に係る圏域別のグラフや市町村別マップは、宮城県国民健康保険団体連合会（国保連、市町村国保）及び全国健康保険協会宮城支部（協会けんぽ）にデータを提供頂き、合算の上、標準化該当比を算出しています。（市町村国保 40-69歳受診者76,568人 協会けんぽ 40-69歳受診者222,581人の状況）

宮城県の取り組み

脱メタボ！みやぎ健康3.15.0（サイコー）宣言

宮城県民のメタボ及びメタボ予備群の割合は、全国ワースト3位以内の状況が13年連続で続いています。そこで、県民の課題である「減塩あと3g！」の「3」、 「歩こう！あと15分」の「15」、 「めざせ！受動喫煙・むし歯0！」の「0」をつないだ「脱メタボ！みやぎ健康3.15.0（サイコー）宣言」をキャッチフレーズとして、減塩・運動・たばこ対策等を推進しています。



